

令和7年度クリーニング師試験（技能筆記試験）問題

試験問題は、試験係員の指示があるまで開けてはいけません

■ 日 時／令和7年11月8日（土） 13時00分～13時10分（10分間）

■ 注意事項について

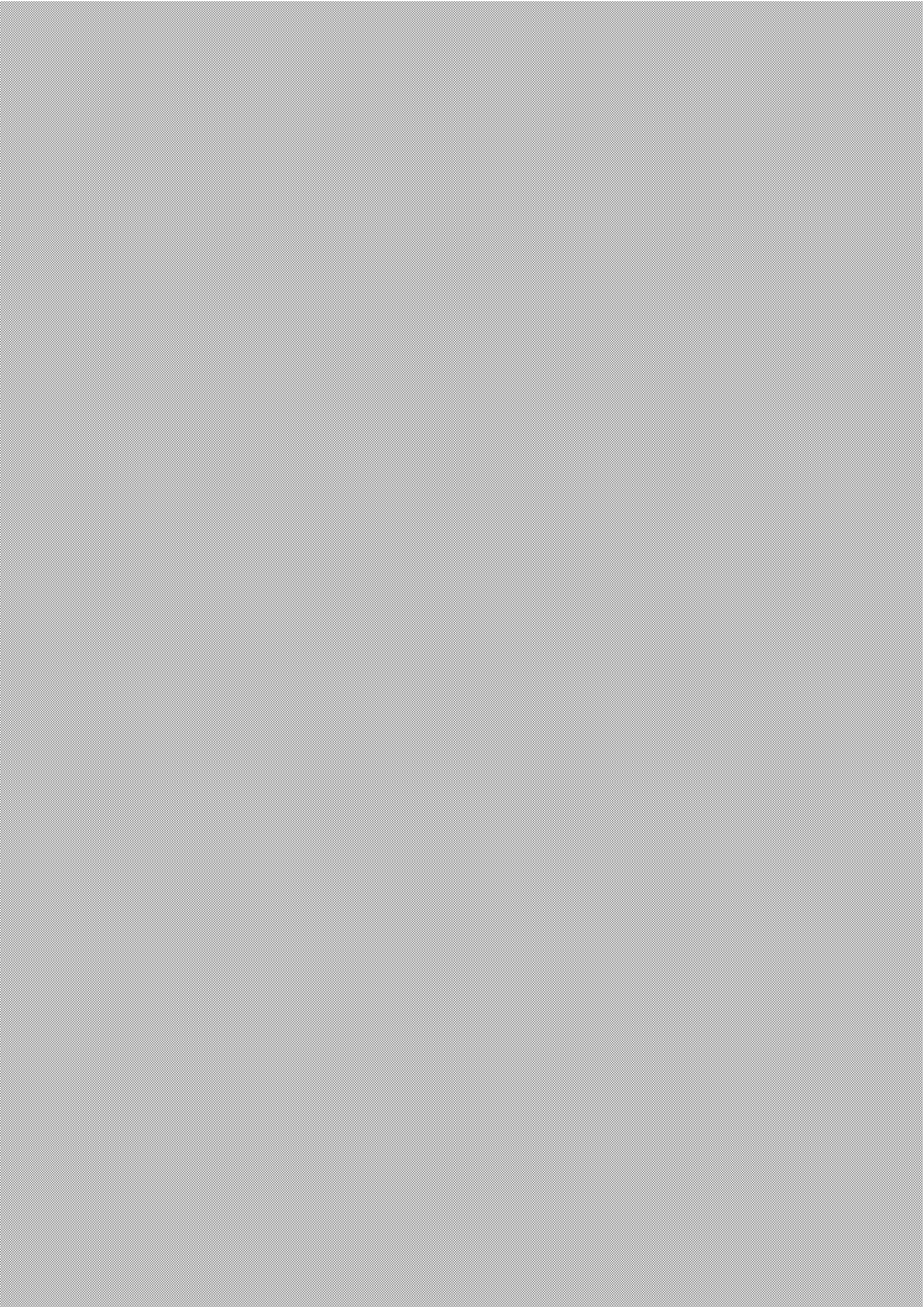
- 試験中は、試験係員の指示に従ってください。
- 試験中に他の人と話をしたり、のぞき見や不正行為のあった場合は、直ちに退場を命じます。
- 試験中は、携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、スマートグラスなどの通信機器は、必ず電源を切って、カバンの中にしまってください。試験中、通信機器の操作を行った場合は、不正行為とみなして失格とします。
- 通信機能のない時計の使用は認めますが、音が出ないように設定し、机の上に置いてください（腕時計も外してください）。
- 試験中にトイレに行きたくなった場合や衣類を着脱する場合、また、水分補給をする場合は、手をあげて試験係員の指示に従ってください。
- 試験中に気分が悪くなった場合は、手をあげて試験係員に申し出てください。
- 試験問題は持ち帰り自由です。

■ 問題及び解答について

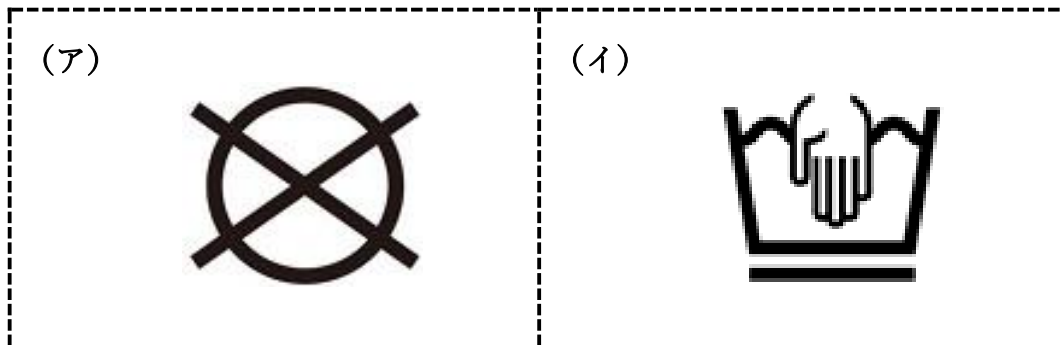
- 問題は、全部で10問、試験時間は10分間です。
- 繊維の鑑別は、外観、手触りで鑑別を行ってください。
- 技能筆記試験終了後、技能実技試験を実施するため、途中で退室することはできません。
- 筆記用具は、鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
- 解答用紙に受験番号及び氏名を忘れずに記入してください。
- 問題は、「選択問題」と「○×問題」が混在しています。設問をよく読み、解答してください。
- 問題の答えは、解答用紙に記入してください。1つの問題に2つ以上の解答を記入した場合は無効となります。

※ 解答用紙への記入例は、右のとおりとなります。 →

問1	(ア) ③
問2	5



問1 次の図は、日本産業規格（J I S L 0001：2024）で定める表示記号を示したものである。それぞれの表示記号の意味を選択肢の中から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。



〔選択肢〕

- ① 洗たく処理はできない。
- ② ドライクリーニング処理ができない。
- ③ 漂白処理はできない。
- ④ ウエットクリーニング処理はできない。
- ⑤ 液温は、30℃を限度とし、手洗いによる洗たく処理ができる。
- ⑥ 液温は、30℃を限度とし、洗たく機で非常に弱い洗たく処理ができる。
- ⑦ 液温は、40℃を限度とし、手洗いによる洗たく処理ができる。
- ⑧ 液温は、40℃を限度とし、洗たく機で弱い洗たく処理ができる。

問2 次の「(A) 汚れの原因となる物質」と「(B) 汚れの種類」を示した5つの組み合わせについて、正しいものはいくつあるか、その数を解答用紙に記入しなさい。組み合わせが全て誤りであると判断した場合は「0」を記入すること。

なお、この問における「汚れの種類」とは、水溶性汚れ、油性汚れ又は不溶性汚れのいずれかに区別したものをいう。

ア (A) アンモニア ————— (B) 水溶性汚れ

イ (A) 細菌 ————— (B) 油性汚れ

ウ (A) グリース ————— (B) 水溶性汚れ

エ (A) 化粧品 ————— (B) 油性汚れ

オ (A) セメント ————— (B) 不溶性汚れ

問3 次のしみ抜き剤に関する文のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 水溶性のしみに使用する基本的なしみ抜き剤は、モノクロロベンゼン、酢酸アミルである。
- 2 水溶性しみ抜き剤には、アルカリ性のものと酸性のものがあり、タンニン系のしみにアルカリ性のしみ抜き剤、タンパク系のしみに酸性のしみ抜き剤を使用する。

問4 あなたの前にある繊維を見分けて、その番号を解答用紙に記入しなさい。

【繊維鑑別問題】

